

第 57 回日本神経学会学術大会のお知らせ

第57回日本神経学会学術大会
大会長 梶 龍兒

開 催 概 要

1. 学術大会会期：2016（平成 28）年 5 月 18 日（水）～ 21 日（土）
「なおる神経内科をめざして」をテーマとして、上記日程で開催致します。
急速に進歩しつつある技術をふまえて、私たちは臨床・研究において「なおる」神経内科をいかに実践していくかを皆様とともに考えたいと思います。
またサブテーマとして「わかる神経内科」をもうけ教育企画も充実させております。
2. 学術大会会場：神戸コンベンションセンター（神戸国際会議場・神戸国際展示場）
〒 650-0046 神戸市中央区港島中町 6-9-1（国際会議場）
〒 650-0046 神戸市中央区港島中町 6-11-1（国際展示場）
神戸ポートピアホテル
〒 650-0046 神戸市中央区港島中町 6 丁目 10-1
3. 演題募集期間：2015 年 10 月 5 日（月）正午～ 12 月 2 日（水）正午
※募集期間の延長はありませんのでご注意ください。
4. 事前参加登録：2016 年 2 月初旬開始予定
※事前参加登録はすべてオンラインにより登録を行います。
※日本神経学会第 7 回専門医育成教育セミナー，第 13 回生涯教育セミナー「レクチャー」「Hands-on」，第 4 回メディカルスタッフ教育セミナー，教育コース，及び各種共催セミナー（モーニングセミナー，ランチョンセミナー，イブニングセミナー，プレミアムイブニングセミナー）もオンラインによる事前登録制とする予定です。
※詳細は追ってホームページでご案内いたします。（<http://www.neurology-jp.org/sokaitiho/neuro2016/>）
5. 参加費：

		事前	当日
会 員	正会員	15,000 円	18,000 円
	研修医会員	3,000 円	3,000 円
	学生会員（大学院生）	3,000 円	3,000 円
	学生会員（学部学生）	無料	無料

		事前	当日
非 会 員	非会員（医師）	18,000 円	21,000 円
	非会員（協賛企業社員）	18,000 円	21,000 円
	メディカルスタッフ ※ 1	5,000 円	5,000 円
	大学院生・初期研修医	3,000 円	3,000 円
	海外からの参加者	—	3,000 円
	Travel Grant 受賞者 ※ 2	—	3,000 円
	学部学生・国内留学生	無料	無料

※ 1 5 月 21 日（土）のメディカルスタッフ教育セミナーのみにご参加のメディカルスタッフは，参加費 1,000 円で，当日（21 日）の他のプログラムも聴講が可能です。

※ 2 Travel Grant に採用された方が対象となります。

〈Travel Grant について〉

◎下記の方を対象に，Travel Grant を支給いたします。

- ・海外の神経内科医および研修医（上限 10 万円（国ごとに上限金額が異なります。））
- ・日本に留学中の神経内科医および研修医（上限 5 万円とし，往復交通費実費程度を支給予定）

- ◎ご登録いただいた抄録を審査の上、対象者を決定いたします。
- ◎年齢制限はございません。
- ◎対象の演題を会場で発表することが支給の条件となります。代理受け取りや、ポスターを貼るだけ、という場合は Grant 支給の対象となりませんのでご注意ください。
- ※詳細は追ってホームページでご案内いたします。(http://www.neurology-jp.org/sokaitiho/neuro2016/)
- 6. 託児所：会期中に託児所をご用意いたします。お申し込み方法などにつきましては、追ってホームページでご案内いたします。(http://www.neurology-jp.org/sokaitiho/neuro2016/)
- 7. エクスカーション：会期中エクスカーションを企画しております。お申し込み方法等につきましては、追ってホームページでご案内いたします。(http://www.neurology-jp.org/sokaitiho/neuro2016/)
- 8. お問い合わせ：
 - 【大会長校事務局】
 - 徳島大学大学院医歯薬学研究部医学部門内科系臨床神経科学分野
 - 〒770-8503 徳島市蔵本町3丁目18-15
 - 【日本神経学会事務局】
 - 〒113-0034 東京都文京区湯島二丁目31番21号丸ビル
 - TEL：03-3815-1080 FAX：03-3815-1931
 - 【第57回学術大会運営事務局】
 - 〒102-8481 東京都千代田区麹町5-1 弘済会館ビル 株式会社コングレ内
 - TEL：03-5216-5318 FAX：03-5216-5552
 - E-mail：neuro57@congre.co.jp

一般演題について

口演発表とポスター発表を予定しております。

1. 申し込み：申し込みはすべてオンラインにて受け付けます。
2. 演題募集期間：2015年10月5日（月）正午～12月2日（水）正午
※募集期間の延長はありませんので、ご注意ください。
3. 演題要旨作成時の注意
 - (1) 演題の制限：1演者につき1題にします。ただし、共同演者になることは差し支えありません。一施設から多数の申し込みも歓迎いたします。
 - (2) ご登録いただく項目
 - ◎登録・発表言語：日本語もしくは英語（応募カテゴリーによる言語指定あり）
※原則、抄録ご登録言語が発表言語となるようにセッションを組む予定です。
 - ◎発表形式区分：口演もしくはポスターより選択
 - ◎筆頭演者と共同演者の氏名（日英）：演者数は20名以内
 - ◎筆頭演者と共同演者の所属機関（日英）：所属機関数は10機関以内
 - ◎演題名（日英）：日本語は全角40文字以内、英語は半角80文字以内
 - ◎演題抄録：
 - ・抄録は、日本語または英語でご登録ください。（応募カテゴリーによる言語指定あり）
 - ・日本語は全角800文字以内、英語は半角1,600文字以内とします。
 - ・【目的】、【方法】、【結果】、【結論】に分けて簡潔に記入してください。その都度改行はしないでください。改行を行っても、抄録印刷の際に反映されません。
 - ・抄録内容が不完全な場合（誤字、脱字、具体的な数値の不足、【目的】、【方法】、【結果】、【結論】に項目立てされていないなど）、不採用になりますので抄録作成の際に細心の注意を払ってご投稿ください。
 - ◎動画の有無：ポスター発表として採択された場合に「動画あり」を選択された方には、ポスターパネルに、動画URLのQRコードをお貼りいただけます。
 - (3) 筆頭演者は本学会の会員である必要があり、登録時に会員番号およびパスワードを入力していただきます。未入会者は登録前に必ず入会申請を行い、入会手続きをお取りください。2015年12月2

日（水）正午までにご入会手続きが完了していない場合はご登録いただいた演題を不採択とさせていただきます。ご登録がございましたら、ご了承ください。

日本神経学会事務局 〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-21 一丸ビル 2階
TEL: 03-3815-1080 FAX: 03-3815-1931 (受付時間: 平日 10:00~17:00)

- (4) 応募演題の研究の内容により、厚生労働省等による倫理指針（臨床研究、ヒトゲノム・遺伝子解析研究、疫学研究、ヒト幹細胞を用いる臨床研究など）及び所属施設が定めた倫理規定（動物実験等を含む）を遵守すると共に、あらかじめ所属施設等において倫理審査委員会等による審査・承認を得ていることが必要です。詳細は学会ウェブサイトにある「日本神経学会学術大会時の演題の倫理面について」（http://www.neurology-jp.org/gaiyo/pdf/endai_rinri.pdf）をご覧ください。
- (5) 演題の査読を行いますので、演題名や抄録本文の中で、所属機関が明らかになるような記述や、筆頭著者や共著者が明らかになるような記述（謝辞を含む）は避けてください。
- (6) 薬品名を記載する場合は、必ず一般名を記載してください。
- (7) 一般演題の一例報告については原則認めません。ただし、症候学的、学術的な面などから深く検討されている内容であれば、審議の上採択する場合があります。
- (8) 患者の個人情報に抵触する可能性のある内容は、患者あるいはその代理人からインフォームド・コンセントを得た上で、個人が特定できないよう十分留意して発表してください。入院年月日や年齢など、個人が特定される恐れのある情報を含む発表は禁止します。
- (9) 第57回日本神経学会学術大会最優秀賞を設けますので、抄録登録時にご申請ください。応募資格は、登録時、学部卒業後15年未満とします。正会員に限らず、学生会員および研修医会員も応募可能です。
- (10) 演題登録締め切り後の登録内容の修正は一切承りませんので注意深く抄録をご準備ください。抄録が採択された場合、事務局からの修正依頼もございません。また学術大会終了後の修正も承りませんのでご了承ください。プログラム・抄録集の“抄録集”部分が「臨床神経学サプリメント号」として認定されております。掲載ページには「臨床神経学 56 巻サプリメント号 S-〇〇」という頁数が付与されます。

4. 利益相反の開示について

産学連携による臨床研究の適正な推進を図り、科学性・倫理性を担保に遂行された臨床研究成果の発表における中立性と透明性を確保するため、すべての発表者に「利益相反（Conflict of Interest, COI と略す）」の開示を求めることになっております。

演題登録画面の「利益相反」の入力欄にて「あり」「なし」をご選択ください。「あり」の場合、演題登録後に日本神経学会 WEB サイトの所定ページより「COI 自己申告書様式」をダウンロードいただき、ご記入の上、書留にて下記まで送付してください。提出締切：2015 年 12 月 10 日（金）必着

COI 自己申告書付送先

〒113-0034 東京都文京区湯島 2-31-21 一丸ビル
日本神経学会事務局 57 回大会 COI 受付係
TEL: 03-3815-1080 FAX: 03-3815-1931

なお、利益相反について、専門的な内容に関するご質問は上記学会事務局までお問合せください。

5. 採否通知

演題登録完了通知メールに記載されている 7 ケタの登録番号を以て、2016 年 2 月中旬頃より、大会ウェブサイトの採択演題一覧ページにて公開いたします。個別にメールでの発表日時などの通知は致しませんので、必ず大会ウェブサイトをご確認ください。

6. 口演による発表方法

- (1) PC プロジェクターが使用可能です。
- (2) ビデオプロジェクターの使用はできませんが、PC からの動画投影は可能です。
- (3) 発表データはメディア（USB メモリーまたは CD-R）での持ち込みとなります。ただし動画がある場合にはご自身の PC をご持参ください。
- (4) 研究倫理諸規定および個人情報保護の諸規定に遵守してご発表ください。
- (5) 利益相反の開示についてのスライドをご提示いただきます。詳しくは日本神経学会ホームページの「学会概要」内、「定款・規則」をご参照ください。
- (6) 学術大会の国際化のため、口演スライドはできるだけ英語で作成するようお願いいたします。英語セッションにおいては、口演スライドは必ず英語で作成してください。

7. ポスター形式による発表方法

- (1) 展示パネルは縦 210 cm×横 90 cm の予定です。パネル上部の演題番号のみ、学術大会事務局で用意いたします。演題・所属・氏名（簡単に）は各自で 20 cm×70 cm に横書きしてください。
- (2) ポスターは要旨・目的・方法・結果・考察の順に大きくわかりやすく書いてください。文章は 2～3 m 離れたところからでも見えるような大きなポイント文字を使い、図式は一辺が 20 cm 以上の大きさにタイトル・簡単な説明をつけてください。
- (3) 演題登録時に「動画あり」にチェックをされた方は、ポスターパネル上の指定スペースに、動画 URL の QR コードをお貼りいただけます。QR コード準備方法の詳細は後日ウェブサイトに掲載いたします。
- (4) パネル自体に直接文字や図表を書いたり、パネルに糊づけしたりはできません。
- (5) ポスターをパネルに貼りつけるための画鋏は会場に用意いたします。
- (6) ポスター発表のスケジュール等は演題採用通知を発表後にご案内させていただきます。
- (7) 研究倫理規定および個人情報保護の諸規定を遵守してご発表ください。
- (8) 利益相反の開示についての内容を記載してください。詳しくは日本神経学会のホームページ「学会概要」内、「定款・規則」をご参照ください。
- (9) 学術大会の国際化のため、ポスターはできるだけ英語で作成するようお願いいたします。英語セッションにおいては、ポスターは必ず英語で作成してください。

8. 日本神経学会 学術大会運営委員 (50 音順・敬称略)

阿部 康二 宇川 義一 梶 龍兒 加世田ゆみ子 吉良 潤一 楠 進
 佐々木秀直 鈴木 則宏 高橋 良輔 辻 省次 西澤 正豊 水澤 英洋

9. 第 57 回日本神経学会学術大会 年次学術大会学術委員 (50 音順・敬称略)

饗場 郁子 青木 正志 赤松 直樹 飯塚 高浩 石浦 浩之 石川 欽也
 伊東 秀文 伊藤 義彰 井上 治久 今井 富裕 宇川 義一 漆谷 真
 小栗 卓也 柿田 明美 加世田ゆみ子 勝野 雅央 亀井 聡 川井 充
 瓦井 俊孝 神田 隆 桑原 聡 古和 久典 齊藤 祐子 坂本 崇
 三條 伸夫 下畑 享良 下濱 俊 鈴木 重明 園生 雅弘 高橋 一司
 高橋 祐二 立花 直子 徳丸 阿耶 富本 秀和 永井 義隆 中島 一郎
 中島 健二 中根 俊成 西川 典子 西野 一三 西山 和利 野寺 裕之
 狭間 敬憲 長谷川一子 服部 信孝 羽生 春夫 原 元彦 樋口 真人
 平田 幸一 松井 尚子 松原 悦朗 松本 昌泰 松本 理器 丸山 博文
 三澤 園子 宮井 一郎 宮地 隆史 村田 美穂 目崎 高広 望月 秀樹
 山田 正仁 山中 宏二 山村 隆 横田 隆徳 吉井 文均 渡辺 宏久
 和泉 唯信 (事務局)

10. 学術大会教育プログラムワーキンググループ (50 音順・敬称略)

安東由喜雄 和泉 唯信 犬塚 貴 梶 龍兒 吉良 潤一 楠 進
 園生 雅弘 服部 信孝

各種企画のお知らせ

☐…英語セッション

1. 大会長講演 (5月19日(木)午後 予定)
 梶 龍兒 (徳島大学大学院医歯薬学研究部医科学部門内科系臨床神経科学分野 教授)
2. Plenary Lecture (5月18日(水)夕方 予定) ☐
 Stanley Fahn (The Neurological Institute of New York, Columbia University Medical Center)
3. 特別講演: 2015 年度学会賞・植林賞受賞者招待講演 (5月19日(木)午後 予定)
 2015 年度学会賞 (学術研究部門): 小野賢二郎 (金沢大学附属病院神経内科)
 2015 年度学会賞 (診療部門): 橋本洋一郎 (熊本市市民病院神経内科)
 2015 年度植林賞: 貫名 信行 (同志社大学大学院脳科学研究科認知記憶加齢部門)

4. 特別講演 (5月19日 (木) 午後 予定)

日野原重明 (聖路加国際病院名誉院長)

5. East Asian Neurology Forum 関連プログラム (予定) [E]

6. Neuroscience Frontier Symposium / ホットトピックス / 治る神経内科 / ガイドラインコース / シンポジウム等 (予定)

5月18日 (水) 午前

- ・ Myasthenia gravis: New insights and overview [E]
- ・ Cutting edge of metabolic/hereditary neuropathies [E]
- ・ 遺伝子診断は脳卒中にどこまで迫ったか
- ・ 片頭痛治療の現在・過去・未来

5月18日 (水) 午後

- ・ Biomarkers and progression of motor neuron disease [E]
- ・ Current topics in myotonic dystrophy — advance in disease mechanism and emerging clinical issues [E]
- ・ 100年目のギラン・バレー症候群：これまでわかったこと、これからの展望
- ・ MRIの最先端技術—何をめざし、何を還元するか—
- ・ MSAの治療の実現のために、何が必要か？
- ・ スポーツ外傷：慢性外傷性脳症の病態をめぐって
- ・ 脳卒中治療ガイドライン2015の改訂点とその後の展開
- ・ 神経疾患解明のためのモデル動物：線虫から霊長類モデルまで

5月19日 (木) 午前

- ・ Disruption of glia–neuron assemblies in intractable neurological disorders [E]
- ・ Neurooncology update—Roles of neurologists— [E]
- ・ Next-generation neurogenetics: cutting-edge strategies for understanding neurological disorders [E]
- ・ Acute treatment and secondary prevention of stroke: The breaking evidences [E]
- ・ 神経内科医におけるワークシェアリング
- ・ 3大変性認知症疾患 (AD, DLB, FTD) の病態解明に対する学際的アプローチ
- ・ 単純ヘルペス脳炎の診療ガイドライン2015に基づく診断と治療
- ・ 進行性核上性麻痺の治療最前線

5月19日 (木) 午後

- ・ Combining imaging and therapy: Neuroimaging-based companion diagnostics and theranostics [E]
- ・ Molecular dissection of Hereditary Spastic Paraplegia [E]
- ・ Improvement in the management of Parkinson's disease: Present status and prospect of ultra-early diagnosis [E]
- ・ ジストニア診療ガイドライン
- ・ 「塞栓源不明の脳塞栓症」を考える
- ・ 本邦の認知症大規模コホート研究：何を目指す？
神経内科の subspecialty として押さえておきたい睡眠関連疾患

5月20日 (金) 午前

- ・ ALS病態；C9ORF72/TDP43のupdate [E]
- ・ Expanding prion concept to cerebral beta-amyloidosis and alpha-synucleinopathies [E]
- ・ 脊髄小脳変性症研究の新展開
- ・ 難病法制定後の極めて希少な神経難病の医療提供を考える
- ・ 不随意運動—最近の話題
- ・ 治るてんかん：高齢者てんかんの診断と治療
- ・ 脳卒中における emerging concepts
- ・ 免疫性神経疾患における自己抗体：臨床スペクトラムと病態

5月20日 (金) 午後

- ・ Pathomechanisms and therapeutic intervention of abnormal excitability in the upper and lower motor neuron systems [E]

- ・多発性硬化症・視神経脊髄炎を治す ㊦
- ・Gene therapy & regenerative medicine ㊦
- ・難病法のもとでの神経難病医療
- ・変貌する炎症性筋疾患の概念
- ・オシロロジーからみた神経疾患の病態と治療
- ・ジストニアの臨床像を理解する
- ・神経新生・核酸医薬

5月21日（土）午前

- ・Therapeutic strategies, mechanisms of spreading of α -synuclein, and biomarkers of Parkinson's disease ㊦
- ・PSP/CBD の臨床と病理
- ・ここまで来た！近未来の神経治療
- ・脱髄疾患研究の新たな展開
- ・なおる神経内科の中のニューロリハビリテーションの役割～ニューロリハは disease modifying therapy としての役割を果たせるか？
- ・脳梗塞の創薬と次世代医療

7. ニューロリハビリテーション学会主催シンポジウム（予定）

5月21日（土）午後

- ・ニューロリハビリテーションの新たな治療アプローチ

8. レクチャーマラソン（予定）

9. 教育コース（事前登録制：予定）

10. メディカルスタッフポスターセッション（5月20日（金）・21日（土） 予定）

11. 医学生・初期研修医セッション（5月21日（土） 予定）

12. 各種共催セミナー（予定）

13. 神経内科ウィーク（市民公開講座・予定）

14. 日本神経学会第13回生涯教育セミナー「レクチャー」（5月18日（水）午前・21日（土）午後 予定）

15. 日本神経学会第13回生涯教育セミナー「Hands-on」（5月18日（水）午前・21日（土）午後 予定）

16. 日本神経学会第7回専門医育成教育セミナー（5月18日（水）午前・午後 予定）

17. 日本神経学会第4回メディカルスタッフ教育セミナー（5月20日（金）午後・21日（土）午後 予定）

18. 日本神経学会市民講座（5月22日（日）午後 予定）

19. 脳梗塞 rt-PA 適正使用講習会（予定）

※プログラムの最新情報については、大会ウェブサイトをご確認ください。